

OFFICE BANK サポート技術情報

更新日：2021/12/08

ダイヤルアップエラー[680]が発生

対象	・ OFFICE BANK Value Ver. 1.00 ~ ・ OFFICE BANK Value 資金集中管理システム Ver. 1.20 ~
----	---

ダイヤルアップネットワークのエントリからの接続で、「エラー 680：発信音が聞こえません。モデムが電話回線に正常に装着されているか、確認してください。」が発生する場合、以下の確認事項を実行して下さい。

確認事項

1. モデム(TA)と電話回線が正しく接続されていない可能性があります。

モデムの LINE 端子につながっているモジュラーケーブルを電話機につなぎなおして、通話ができるかどうか確認してください。

モデムにモジュラーケーブルの差込口が 2 つある場合は、LINE 端子と TEL(PHONE)端子を間違えていないかを確認してください。

2. 電話回線側に問題がある可能性があります。

A. 0 発信を必要とする電話回線を使用している。

B. 内線電話などで通常のトーン音がしない回線を使用しているのに、トーンを待ってからダイヤルする設定になっている。

上記にあてはまる場合は、以下の手順を行ってください。

■Windows 8.1 の場合

- ① スタート画面の下からアプリ画面を表示して、[Windows システム ツール]の[コントロール パネル]を選択します。
- ② 開いた[コントロール パネル]画面から[電話とモデム]アイコンを選択します。
- ③ [電話とモデム]画面の[ダイヤル情報]タブで[編集...]ボタンをクリックします。
- ④ 「0」を発信した後にポーズ間隔が必要な場合は、外線発信番号「0」の後に「, (カンマ)」を付加し、[OK]ボタンをクリックします。
- ⑤ [電話とモデム]画面の[モデム]タブで使用しているモデムを選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。
- ⑥ モデムのプロパティ画面の[モデム]タブで「発信音を待ってからダイヤルする」のチェックをはずし、[OK]ボタンをクリックします。

■Windows 10 の場合

- ① [スタート]ボタンをクリックしてスタート画面を表示し、[すべてのアプリ]を選択します。
- ② [Windows システム ツール]の中の[コントロール パネル]を選択します。
- ③ 開いた[コントロール パネル]画面から[電話とモデム]アイコンを選択します。
- ④ [電話とモデム]画面の[ダイヤル情報]タブで[編集...]ボタンをクリックします。
- ⑤ 「0」を発信した後にポーズ間隔が必要な場合は、外線発信番号「0」の後に「, (カンマ)」を付加し、[OK]ボタンをクリックします。
- ⑥ [電話とモデム]画面の[モデム]タブで使用しているモデムを選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。
- ⑦ モデムのプロパティ画面の[モデム]タブで「発信音を待ってからダイヤルする」のチェックをはずし、[OK]ボタンをクリックします。

■Windows 11 の場合

- ① [スタート]ボタンをクリックし、[すべてのアプリ]を選択します。
- ② [Windows ツール]を選択し、[コントロール パネル]をダブルクリックします。
- ③ 開いた[コントロール パネル]画面から[電話とモデム]アイコンを選択します。
- ④ [電話とモデム]画面の[ダイヤル情報]タブで[編集...]ボタンをクリックします。
- ⑤ 「0」を発信した後にポーズ間隔が必要な場合は、外線発信番号「0」の後に「, (カンマ)」を付加し、[OK]ボタンをクリックします。
- ⑥ [電話とモデム]画面の[モデム]タブで使用しているモデムを選択し、[プロパティ]ボタンをクリックします。
- ⑦ モデムのプロパティ画面の[モデム]タブで「発信音を待ってからダイヤルする」のチェックをはずし、[OK]ボタンをクリックします。

以上